



ぎょうせい はりま

No.35
1995. 7.



東播支部定時総会における記念写真

就任のごあいさつ

暑中お見舞い申し上げます

支部長 三村 良三

第35回支部定時総会において、支部長に再任されました。激動、変革の荒波に負けず大地に根の張った行政書士、21世紀の新しい時代に対応できる元気な行政書士を目指したい、と思います。

1. 17阪神淡路大震災では、会員の方々には義援金の拠出など多大のご協力を賜りました。お陰で他支部に優る救援活動ができました。行政書士の立場からこの震災を振り返ってみると、対内的な救援活動である会員に対する迅速な見舞金の支給などは、十分とはいえなくとも評価されると思う。一方、対市民への救援活動については建設業関係をはじめとする許認可申請の期限延長要

請、借地借家などの無料相談、義援金の拠出など一早い行動はできたけれども、緊急時における「行政書士業務」を生かし、市民と行政とのパイプ役としての役割は充分発揮したのかと自問すれば甚だ疑問です。

災害に強い町づくりが進められていますが、我々としても官民協力して、震災などの緊急時における行政書士としての体制作りを取組む必要があります。社会的地位向上が図れる一つのチャンスであると思います。

今年は震災やサリン事件など暗い出来事が多い中で、うれしいニュースが届きました。元支部長・藤岡正善会員が、行政書士として自治大臣表彰を受けられました。永年のご功績が報われたものと心から感謝とお祝いを申し上げます。

この2年間、微力ながら実りあるそして楽しい支部運営に励みたいと思います。役員の方々、会員諸姉諸兄の忌憚のないご意見ご指導をお願い申し上げます。

行政書士は、まちの身近な相談相手

第35回定時総会報告 三村氏続投!

平成7年4月22日(土)午後2時より加東郡社町JA加東郡農協「おりんぴあ亭別館」において、第35回定時総会が開催されました。

当日の出席者は、94名中77名(委任状による出席者53名)、田中副支部長の開会のことばで始まり、物故会員に対する黙禱、三村支部長の挨拶、永年在籍会員の表彰、その後、井上喜一衆議院議員、首藤忠義本会副会長、自民党小西俊一氏の各氏から来賓の挨拶がありました。引き続き、東野会長、井上衆議院議員、神戸県会議長、中村県会議員からの祝電・メッセージが披露されました。

その後、司会者岩本会員より議長選出について会場に諮ったところ、「司会者一任」の声があったので、司会者は石田健郎会員を指名し、満場一致で承認。石田健郎会員が議長席につき、定足数を満たしており、本総会が有効に成立していることを宣し、議事録署名人に鈴木喜助会員と谷口栄一会員の両名を指名し、議案の審議に入りました。

三村支部長は、役員をはじめ会員の協力により大過なく会務を遂行できたこと、阪神・淡路大震災について義援金を拠出していただいたことなど謝辞を述べた後、東播支部の概要について報告し、6年度事業報告及び収支決算についての説明、引き続き大村監事より「適正」に執行されている旨の監査報告があり、議長がその可否を会場に諮ったところ、満場異議なく承認可決されました。

次に7年度事業計画及び収支予算案について説明があり同様承認可決されました。

又、役員改選の議案についても、選考委員会の選考により新役員が選任され満場一致で承認可決されました。新支部長には三村良三会員が再任されました。

議事終了後、中村副支部長より閉会のことばがあり、定時総会は無事終了しました。

その後、懇親会場に移動し、会員相互の親交を深めました。

部の設置及び役員分担

研修部、広報部ほか、厚生部を設置する。

- ①研修部(業務についての調査研究、研修会の開催等)
- ②広報部(広報活動に関する事項、会報の編集、発行等)
- ③厚生部(親睦旅行の参加、親睦行事の計画、実施)

<分科会> 世話人

- 開発分科会……坂上 良祐 武川 長久
- 建設分科会……村上 紀文 中右 寅雄
- 保険分科会……岩本 泉 西脇 裕史

<役員分担>

役 職	研 修 部	広 報 部	厚 生 部
担当副支部長	坂上良祐	中村敬吾	坂上良祐
部 長	田中 清	吉田 稔	村上紀文
次 長	武川長久	岩本 泉	西脇 貢
ス タ ッ プ	中右寅雄 立花義房 大村 彰 仲田金次	岸本憲明 王子加寿美 石田健郎 金澤重夫 岡崎弘志	則包 毅 足立勝美 西脇裕史

大杉内科医院

加西市別府町乙11-2
TEL 0790(47)0023

おりた外科・胃腸科

加西市北条町古坂912-1
TEL 0790(42)6000

第35回定時総会報告 三村氏続投!

平成7年4月22日(土)午後2時より加東郡社町J A加東郡農協「おりんぴあ亭別館」において、第35回定時総会が開催されました。

当日の出席者は、94名中77名(委任状による出席者53名)、田中副支部長の開会のことばで始まり、物故会員に対する黙禱、三村支部長の挨拶、永年在籍会員の表彰、その後、井上喜一衆議院議員、首藤忠義本会副会長、自民党小西俊一氏の各氏から来賓の挨拶がありました。引き続き、東野会長、井上衆議院議員、神戸県会議長、中村県会議員からの祝電・メッセージが披露されました。

その後、司会者岩本会員より議長選出について会場に諮ったところ、「司会者一任」の声があったので、司会者は石田健郎会員を指名し、満場一致で承認。石田健郎会員が議長席につき、定足数を満たしており、本総会が有効に成立していることを宣し、議事録署名人に鈴木喜助会員と谷口栄一会員の両名を指名し、議案の審議に入りました。

三村支部長は、役員をはじめ会員の協力により大過なく会務を遂行できたこと、阪神・淡路大震災について義援金を提出していただいたことなど謝辞を述べた後、東播支部の概要について報告し、6年度事業報告及び収支決算についての説明、引き続き大村監事より「適正」に執行されている旨の監査報告があり、議長がその可否を会場に諮ったところ、満場異議なく承認可決されました。

次に7年度事業計画及び収支予算案について説明があり同様承認可決されました。

又、役員改選の議案についても、選考委員会の選考により新役員が選任され満場一致で承認可決されました。新支部長には三村良三会員が再任されました。

議事終了後、中村副支部長より閉会のことばがあり、定時総会は無事終了しました。

その後、懇親会場に移動し、会員相互の親交を深めました。

部の設置及び役員分担

研修部、広報部ほか、厚生部を設置する。

- ①研修部(業務についての調査研究、研修会の開催等)
- ②広報部(広報活動に関する事項、会報の編集、発行等)
- ③厚生部(親睦旅行の参加、親睦行事の計画、実施)

<分科会> 世話人

- 開発分科会……………坂上 良祐 武川 長久
- 建設分科会……………村上 紀文 中右 寅雄
- 保険分科会……………岩本 泉 西脇 裕史

<役員分担>

役 職	研 修 部	広 報 部	厚 生 部
担当副支部長	坂上良祐	中村敬吾	坂上良祐
部 長	田中 清	吉田 稔	村上紀文
次 長	武川長久	岩本 泉	西脇 貢
ス タ ッ フ	中右寅雄 立花義房 大村 彰 仲田金次	岸本憲明 王子加寿美 石田健郎 金澤重夫 岡崎弘志	則包 毅 足立勝美 西脇裕史

大杉内科医院

加西市別府町乙11-2
TEL 0790(47)0023

おりた外科・胃腸科

加西市北条町古坂912-1
TEL 0790(42)6000

雑 感

副支部長 坂上良祐

三村支部長から次回の「行政はりま」の原稿の依頼を受けておりながら、忘れてしまい、吉田編集長から明日の朝に提出するよう催促を受けたものですから、何も考えることも出来ず、私の感ずるまゝに筆を取りましたのでお許しを頂きたいと思えます。

行政書士の会員となり3年目を迎え、はからずも、平成7年度、東播支部の副支部長の重責を負うことになりました。未だ、未熟者で会員の皆様方のお役に立てるようなことは、何一つ出来ないかも知れませんが、三村支部長の補佐役として頑張っていきたいと思っておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

私は、30有余年、地方公務員として奉職いたしておりましたので、行政経験を生かせるような仕事をしたいと望み、先輩の武川長久さんや皆様方のご指導と温かいご支援によって、測量業を営む会社「アイジー」を創設、男のロマンを把む機会を与えて頂き、現在では、関係行政機関を訪問しながら業務の遂行にあたっておりますが、担当職員の立場を守る対応に、しばし腹立たしさを憶えることもあり、これも立場の違いかと諦める自分が情けないときがある。

これも、高度成長した時代の流れと住民思考の変化に条例や規則等による行政指導と実務が立ち遅れて旧態依然とした画一的な指導が起因するものであることを痛感しており、地域の実情に即した指導を期待するものであります。

おめでとうございます

自治大臣表彰を受賞して



藤岡正善

梅雨あけを控えにわかに暑さがつのこのごろ皆様にはお変りなく元氣一杯お仕事に頑張っておられますこと心からお喜び申し上げます。

長らく東京での会務にかゝって御無沙汰を重ねましたが、この度行政書士法制定45周年記念として長年業務に精励し、かつ行政書士制度の向上発展に貢献した功績者の自治大臣表彰がありました。処該当者全国で14氏の内、当県から嶋村副会長（姫路）と私の2名が6月22日東京都港区高輪のホテルパシフィックで開催の日行連総会で表彰されました。平成5年春には時の宮沢首相主催の新宿御苑観桜会に「業界代表の一人」として招待を受けたことに続く、重ね重ねの栄誉にあずかり身に余る光栄と感激を新たにして居ります。

これひとえに連合会長、本会会長、支部長様をはじめ先輩同輩の皆様の変らぬ強力な御指導・御支援の賜物と終生忘れることなく行政書士業務に励むと共に、支部発展のため微力ではございますが精一杯頑張りたいと思えます。どうか今後とも宜敷くご指導ご愛顧を賜りますよう切にお願い申し上げ、自治大臣表彰受賞の御報告と御礼に代えさせていただきます。

（平成7年7月1日）

編集後記

先般、株価が急落したことについて武村大蔵大臣が「景気は気からと申しますので……」というコメントをされているのを聞いて、そのような発言をしなければならない程景気は悪いのかと思ってしまった。

インドの経済学者ラビ・バトラ博士は、「資本主義は爆発的に崩壊する」と予言している。氏は過去に数々の予言を的中させている。そして、その後により優れた社会システムが発生し、世界は黄金時代を迎えると予言している。1995年から大激動が始まり、5～7年で世界は大変身を遂げるということです。

確かに世界は大きく変動しているが、そのなかでの各人の主体性こそが問われている時代なのではなからうか。

今回、再度広報部長のお役目を抑せつかりましたが、前回同様宜しく御指導、御協力の程お願い申し上げます。多数の原稿をお待ちしております。（吉田 稔）

ぎょうせい はりま No.35

発行日 平成7年7月26日発行
 発行人 三村良三
 発行者 兵庫県行政書士会 東播支部
 〒677 西脇市高田井町35-1
 三村良三事務所内
 TEL 0795-23-4522